

柄正毎く交際面倒の事と存りん 二七はよろしく  
あひなりのありてあ氣の毒存ん存りん  
お前しの個所大體ぐらしくりておま

二四ノ九、二五ノ二、二一、二一ノ三七存のは、ソひなるましの言語  
なりし、この言なるましの言と知らずやそのとの言に多  
少の區別をいれしおく必要あり、文にありしは、得る  
は表し、表しにくきは「レ」をつけあらするにソレなる  
なれば左様承取らるべく

まは右様返るまを中平作ら 不

七月三十日 釈

別紙附

神戸 聖文堂社 印

【印中】

マルニ備四十二 「見るとき」 書き上と、形両方の訂正ありとも事承りし

示は原書の前記に依りたるもので、マタイ十五の十五とは書方が違ひます、よか

「書き」を改行に移すか為與て（川添万壽傳）

五ノ七「まきて」は「まき」に可

改譯聖書使徒行傳中 訂正箇所 頁を訂正本と相違、箇所異他た如し。

頁教 章節

二七四 一〇十八 かの價 かの不義の價 ト訂正

二九〇 七〇二ニ 慄き 慄き ト訂正

三〇三 土の十七 神おぬらが 神おぬらがト訂正

三〇九 五の三一 證人 證人 ト訂正

三一四 十五の三三 スリヤ スリヤ ト訂正

三一五 二一 現行本に 現行本に ト訂正

二七五 二〇九 メヂヤ人 メヂヤ人

二七九 三〇二 怪むか 怪しむか

二九〇 七〇三 <sup>十九</sup> 逃ルテ 逃ルテ (正書)

二九一 二二 苦田と犠牲 左 上

朱書別所  
 訂正箇所

苦田ニテアタヤ 苦田の方  
 正書  
 正書  
 正書  
 正書

(註) 苦田ニテアタヤ  
 正書  
 正書

正書  
 正書

神戶市江戶町九十五番  
**英國聖書會社**  
 振替貯金口座大版一〇八三番

三〇六	十三〇ニ	乳兄弟	乳兄弟	正
三〇七	十五〇十五	行はんとする	行はせんとする	正
三〇九	十五〇十五	會堂司たち	會堂司たち	正
三一〇	十五〇十五	嫉みに	嫉みに	正
三一五	十五〇三八	パンフリヤ	パムフリヤ	正
三二七	十九〇三八	テメリオ	テメリオ	正
三三八	二十〇十二	慰安	慰藉	正
三三七	二十〇十二	盟約を立て	盟約を立て	正
三三八	二二〇三三	西三人	西三人	正
三三三	二五〇三五	かの自ら	彼の自ら	正
三四八	二七〇三三	食事をせぬと	食事をせぬと	正
三九七	八〇三三	見るなり	見るなり	正

(現行)

(訂正)

他、例にまらば、  
 司、  
 大、

格文よりいへば、  
 強ひて固執せり、  
 (川原曰く、  
 三十一、  
 二七)

正をせしめ、  
 可憐なるの原語は、  
 正

別れ、  
 注、  
 正

Turas Siso (act)  
 Siso Turas (dual)

た、  
 米、  
 川、  
 正

二十の三七は「暖めし」にてをけり「そのか」ふち「ふ」以下を三ハ節となし下すれし

二九五 八〇三〇  
 彼は……なりし  
 二五九 三三三  
 請ふ事也。ハ  
 二六〇 三三三  
 此れのみし  
 二六一 二八〇  
 此れのみし  
 二六二 二八〇  
 此れのみし

二六三 二八〇  
 此れのみし  
 二六四 二八〇  
 此れのみし  
 二六五 二八〇  
 此れのみし

三〇五 二八〇  
 此れのみし  
 三〇六 二八〇  
 此れのみし  
 三〇七 二八〇  
 此れのみし  
 三〇八 二八〇  
 此れのみし

三〇九 二八〇  
 此れのみし  
 三一〇 二八〇  
 此れのみし  
 三一〇 二八〇  
 此れのみし  
 三一〇 二八〇  
 此れのみし

三一一 二八〇  
 此れのみし  
 三一二 二八〇  
 此れのみし  
 三一二 二八〇  
 此れのみし  
 三一二 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし  
 三二〇 二八〇  
 此れのみし

ちあちあ七七日あちあ  
 神戶  
 ちあちあ七七日あちあ

別所

口マ書 コリント前後書

現行刷本

正本

三十四頁 三六十三 巴を神にさし給

巴を神にさし給

巴を正し

三九六 前書 六六六 一體となすべしと

同上

なるべしと この方正し

四一六 喜ひせらる

喜ひせらる

ト正せし

四二二 後書 一〇十八 言も然り。

然り、

言も然り」とあるを註有

口マ書一喜ひせらるる用

廿五は初説の毎くなし  
 十四を左へあるせ下され

明治七年九月十二日

神戸市江戶町九拾五番

英國聖書會社

下付刷本

ヨハネ傳福音書中一在一個所

二二〇	七〇二九本	因りてなり。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一九	三九	収むるなり。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一八	四五	得ん。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一七	四七	飲みたり。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一六	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二一五	四五	置きたり。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一四	三〇	得ん。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一三	二〇	置きたり。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一二	十	置きたり。	全上	〇、因りし	即	然り	
二一一	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二一〇	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇九	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇八	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇七	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇六	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇五	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇四	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇三	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇二	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇一	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	
二〇〇	四五	萬物	全上	〇、因りし	即	然り	

不必要なる、三ノ節と  
 會文の文法の方ことなる、故

校正のより正しん  
 あり、其の控は、  
 川口、正本、  
 正し、萬とまん  
 讀む時は、  
 心と譯む、  
 然とす、方可

正を正し

神戶市江戶町九十五番  
英國聖書會社  
振替貯金口座大版一〇八三番

二三九 九〇三九本 爲存。

全上

〇、仲りし口ト

以上外 文學ノ訂正

二三三頁 上〇二 綴ふハ

二三六頁 十二〇十三 呼ばるハ

三七二頁 二〇七 讀ふハ

常

子方監督より申送りしヨレム

使徒行傳 二三〇二三カ 兩人トシテ定ムレバ  
ルカ傳 七〇十九カ 兩人トシテ

以上

神戶市江戶町九十五番

七月廿一日

英國聖書會社